ピクニック（1955）

PICNIC

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 113分
初公開日 1956/03/09
公開情報 ＣＯＬ

【解説】

カンザスの田舎町。大学時代の友人を訪ねてやってきた青年ハル。その日は“労働休日”。訳あって無一文の彼は、老女の家の庭掃除を申し出る。男っ気のなかったこの家と、女４人で暮らす隣の一家にとって上半身裸で働くハルの姿が眩しく頼もしい。友人アランは隣家の長女マッジの婚約者。彼女は町一番の美人で“ピクニックの女王”。美人というだけで寄ってくる人達が、心を開いて接してくれる訳ではないと悩んでいる。その妹のミリーは眼鏡のひがみ屋さんで“どうせマッジは美人よ！”が口癖。そんなミリーもハルをパートナーに、マッジはアランを、下宿人の女教師はやもめ商人ハワードとピクニックに出かける。パートナーを交代して踊っているうちにハルとマッジの雰囲気があやしい。酒に酔った女教師の悪態に傷つき、逃げ出すハル。借りた車でマッジも同行したのがアランにばれ、自動車泥棒だと訴えられ、町を出ることに。むき出しの愛の告白に心打たれたマッジは……。

キャラクター設定が繊細なのも興味深い。美人の姉を持つ妹の心理。オールドミスの女教師の気性とそれを理解するやもめ商人。明るく調子者のようでも前科の過去を持つ主人公の言葉にならない自責。たった一日のできごとで駆け落ちにまで発展してしまうわけだが、賑やかで幸福な町中あげてのピクニックの情景はそれだけで映像的に楽しめる。

【クレジット】

監督	ジョシュア・ローガン	Joshua Logan
製作	フレッド・コールマー	Fred Kohlmar
原作	ウィリアム・インジ	William Inge
脚本	ダニエル・タラダッシュ	Daniel Taradash
撮影	ジェームズ・ウォン・ハウ	James Wong Howe
音楽監督	モリス・Ｗ・ストロフ	Morris W. Stoloff
作曲	ジョージ・ダニング	George Duning
出演	ウィリアム・ホールデン	William Holden
	キム・ノヴァク	Kim Novak
	スーザン・ストラスバーグ	Susan Strasberg
	ロザリンド・ラッセル	Rosalind Russell
	ベティ・フィールド	Betty Field
	エリザベス・ウィルソン	Elizabeth Wilson
	アーサー・オコンネル	Arthur O'Connell
	ニック・アダムス	Nick Adams
	クリフ・ロバートソン	Cliff Robertson

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.